allcinema

アジアの嵐（1928）

POTOMOK CHINGIS-KHAN
STORM OVER ASIA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1930/10
公開情報 劇場公開

【解説】

エイゼンシュテインと共にソビエト映画の基礎を固めたプドフキンの代表作の一つ。

モンゴルの遊牧民バイールは商売による諍いから英国人の仲買人と対立し、山岳地帯に逃げ込んだのをきっかけにソ連のパルチザン部隊に身を投じる事になる。やがて彼は英国軍に捕らわれ、ジンギス汗の末裔として祭り上げられる事になるのだが……。

体裁としては一応、蒙古民俗の解放闘争に題材を取っているものの、英米を始めとする資本主義国へのかなり赤裸様な批判姿勢等に、社会主義プロパガンダ映画としての性格がうかがえるのだが、全体的にはパワフルな娯楽作となっており、教条的な嫌らしさは余り感じ取れない。見所の一つであるプドフキン独特のモンタージュ技術も、今日の目から見るといささか幼稚な印象を受けるが、物語の端的さも手伝ってか、迫力を上げるのに十分な効果を持っている。原題は“ジンギス汗の後商”といい当初ソ連ではこのタイトルで公開されたが、日本を初め諸外国では「アジアの嵐」として知られる事になった。尚、後に吹き替えによる、サウンド・トーキー版が作られている。

【クレジット】

監督 フセヴォロド・プドフキン　Vsevolod Pudovkin
原作 イワン・ノウォクショーノワ
脚本 オシプ・ブリーク
撮影 Ａ・ゴロフニヤ
出演 ワレリイ・インキジノフ
アナトーリ・デジンツェフ
リュドミラ・ベリンスカヤ
アンナ・ステン　Anna Sten

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.